

特別展示

奈良と帝塚山学園の

「戦後80年」

戦時下の奈良山里

— 永井清繁氏が描いた戦争 —



▶ 永井清繁 画

天理市福住で生涯を過ごした永井清繁氏は戦時中の山里の様子を絵に残されました。赤紙（召集令状）の到着、出征軍人の見送り、留守家族の生活など、戦争のさなかの山村の暮らしがいきいきと蘇ります。

昭和16年に創立された帝塚山中学校にも戦争が暗い影を落としました。学徒勤労動員、児童疎開など、厳しい時代でした。この展示では戦中・戦後の写真から帝塚山学園の昭和史を追います。



▲昭和19年 志願兵（1期生）の見送り

帝塚山学園の昭和史

7月2日（水）～12月1日（月）

帝塚山大学東生駒キャンパス 図書館2階

観覧をご希望の方は開館日の10時～16時に図書館カウンターにお越しください。

古都奈良にも、戦争の爪痕が残されています。ここでは県内の戦争遺跡に関する調査成果を展示します。

【10月1日（水）～】

奈良の戦争遺跡



▲大和海軍航空隊大和基地跡

戦争の現実を身近に感じ、平和を考えるきっかけとなる図書を紹介するコーナーも設けています。

企画・調査・展示：帝塚山大学大学院人文科学研究科・文学部・法学部 学生有志
主催：帝塚山大学奈良学総合文化研究所
帝塚山大学
学校法人帝塚山学園
協力：学校法人帝塚山学院

問い合わせ：奈良学総合文化研究所 0742-48-9122 naragakuten@tezukayama-u.ac.jp



学校法人 帝塚山学園

基調講演

特別展示「奈良と帝塚山学園の『戦後80年』」

7/12 土 10:30 ~ 12:00

「個人の営みや考えを示す歴史資料」

講師：鷺森浩幸（帝塚山大学文学部教授）

場所 帝塚山大学東生駒キャンパス 図書館 2 階

定員 先着 50 名

奈良学への招待^{XXIV}

奈良学をとおしてみる 〈戦時下〉

10/4 土 10:30 ~ 12:00

「戦時下の文学と奈良」

講師：西尾元伸（帝塚山大学文学部教授・奈良学総合文化研究所長）

10/25 土 10:30 ~ 12:00

「正倉院展の“はじまり”と戦後 80 年」

講師：関根俊一（帝塚山大学客員教授・名誉教授）

11/1 土 10:30 ~ 12:00

「昭和戦時期奈良県下の文化財疎開」

講師：山田淳平氏（奈良県地域創造部文化財課美術工芸担当主査）

11/22 土 10:30 ~ 12:00

「奈良学における戦争と平和
—戦争遺跡から『青い目の人形』まで—」

講師：末吉洋文（帝塚山大学法学部教授）

場所 帝塚山大学東生駒キャンパス
1 号館 1 階 1101 教室

定員 各回先着 80 名

申込方法 本学 HP「公開講座」の申込フォームより
※申込フォームは順次設置されます。

問い合わせ TEL:0742-48-9122
Mail:naragakuken@tezukayama-u.ac.jp

聴講
無料

